

岩国市新庁舎建設（案）説明資料

岩 国 市

岩国市新庁舎の概要説明資料

1. 設計者の選定から設計業務の実施状況

- ★ 平成 15 年 8 月、岩国市では初めてとなるプロポーザル方式(7 者参加)によって基本設計の設計者を「(株)佐藤総合計画」に決定。地元の協力事務所として「(株)吉村設計事務所」及び「(株)松重建築設計事務所」が設計に参画。
- ★ 9 月上旬から設計作業に着手、以後、市と設計事務所が協議・検討を重ねながら平成 16 年 3 月 26 日をもって基本設計が完了。平成 16 年度は、その基本設計をもとに実施設計に着手し、現在大詰めの作業を行っている。

2. 庁舎整備にあたっての基本方針

- ★ 市庁舎は、常に地域や市民の身近にあり、地域の特性を考慮した、真の意味での「新しい時代のシンボル施設」となること。
- ★ そのため、行政との垣根をできるだけ取り払い、市民に開かれ親しまれる施設であるとともに、周辺の都市環境づくりをリードし、地域の活性化にも貢献できる施設であること。
- ★ 来庁者の利便性の向上、仕事の効率化と行政サービスの向上につながる施設であることなど。

3. 設計の概要

(1)外部空間計画

- 敷地全体を南北に大きく 3 つのゾーンに分けて、
- 北側を既存の大樹を生かした公園や並木を設けた「緑地ゾーン」
 - 庁舎中央を貫いて東西につながる中央部分を市民に開放された「広場ゾーン」
 - 南側を来庁者のための「駐車場ゾーン」とする。

(2)施設の規模・概要(詳細は配布資料のとおり)

◆敷地面積	17,452 m ² (街区公園用地 1,816 m ² 含む。)
◆建築面積	約 3,500 m ²
◆延床面積	約 24,000 m ²
◆構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
◆階 数	地下 1 階 地上 6 階 高さ約 30m
◆駐 車 場	・一般駐車場 約 200 台 ・公用車駐車場等 約 100 台
◆駐 輪 場	約 300 台

(3)総工事費 約 93 億円（駐車場・公園整備等の外構工事含む。本体の建設工事は約 89 億円）

(4)施設の機能配置

①1・2 階

来庁者の利便性の向上を図るため、利用の多い窓口部門を 1・2 階の低層階に集約

②3～5 階(基準階)

一般事務部門の執務室。関係部門を同じ階に集約し、仕事の効率化と快適性、来庁者の利便性に配慮

③6 階

議会関係の諸室を機能的に配置。また、明るく開放的な空間づくりと議会傍聴者の利便性にも配慮

岩国市新庁舎の特徴

1. フレキシブル性

- ①中央部吹き抜けのドーナツプラン。
- ②執務室内に柱や壁を極力なくすことで、広くて明るい開放的な空間を創出。
また、行政組織の変更や、職員の増加にも柔軟な対応が可能。

2. 防災機能

- ①災害時に迅速な対応を推進する防災対策室を設置。
- ②大規模地震時にも行政機能が維持できるよう、免震構造を採用。
- ③災害時有効に活用できる広場の整備。

3. バリアフリー対応（ハートビル法・山口県福祉のまちづくり条例）

- ①各階に多目的トイレを設置。（1・2階はオストメイト対応）
- ②庁舎出入口に音声誘導装置を設置。
- ③階段には2段式手摺りを設置。
- ④エレベーターは車椅子対応。
- ⑤申請窓口はローカウンター。
- ⑥庁舎玄関近くに、車椅子用駐車場を設置。
- ⑦1・2階に授乳室を設置。

4. 環境への配慮（グリーン庁舎）

- ①雨水の利用（トイレの洗浄水、草木への散水）による、資源の節約。
- ②ダブルスキンによる、空調負荷の低減。
- ③屋上の緑化や透水性舗装による、温暖化抑制。
- ④太陽光発電による、自然エネルギーの活用。

5. パブリックスペースの確保

- ①市民ロビー、防災対策室、広場や公園を、多目的な活動の場として、市民に開放（予定）

6. 経費節減対策

- ①水蓄熱を採用し、深夜電力の活用による運転経費の削減。
- ②照明制御（タイマー、人感センサー、昼光センサー等）により、使用電力量の削減。

岩国市新庁舎建設事業計画スケジュール

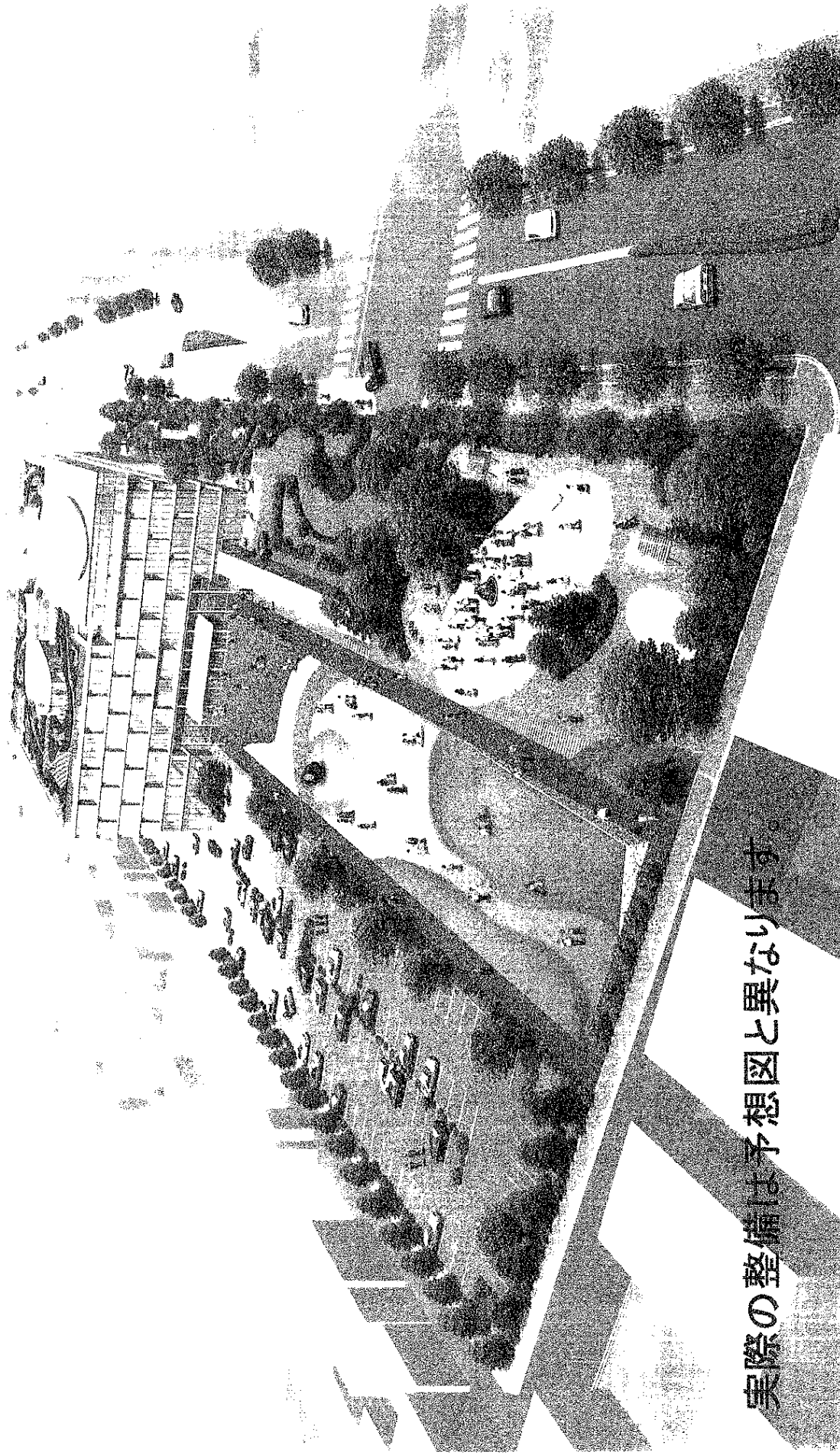
	設計業務			工期			備考
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	地質調査	実施設計					
	敷地調査						
	基本設計						
				</			

庁舎建設事業費および財源内訳(計画)

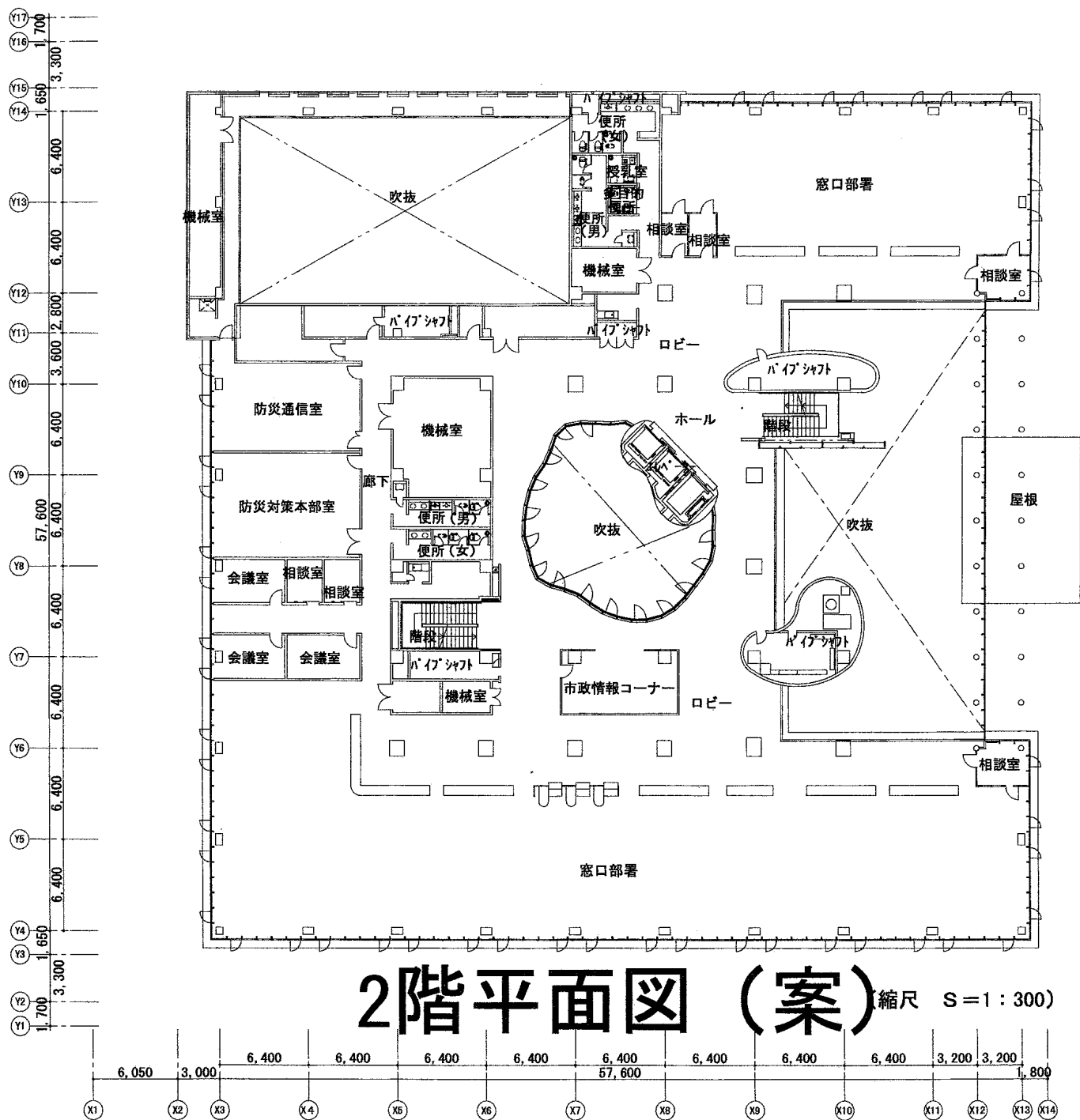
(単位:百万円)

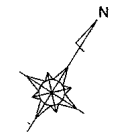
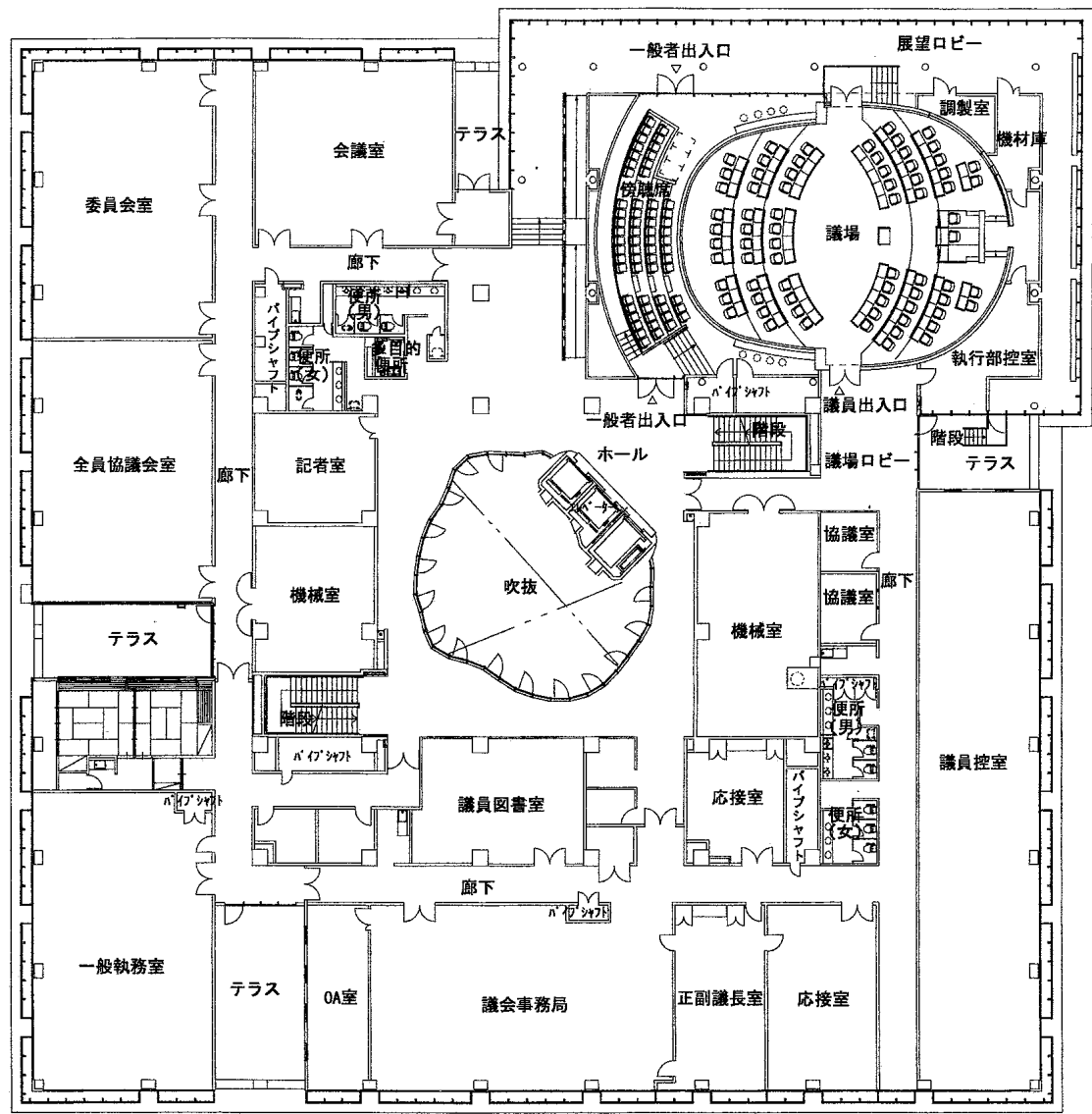
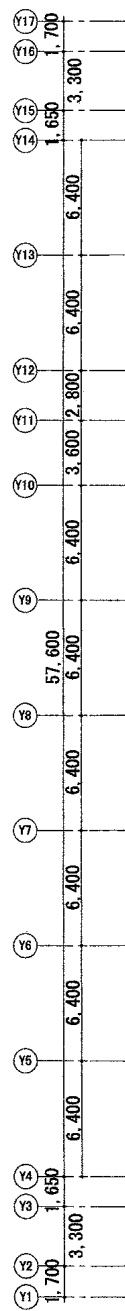
年 度	事 業 内 容	事業費	財 源 内 訳			備 考
			国庫補助金	地方債	繰入金	一般財源
平成15年度	基本設計業務ほか	91 (決算)	59			32
平成16年度	実施設計業務ほか	189 (予算)	99			90
実施済・実施中計		280	158			122
平成17年度	本体建設工事ほか	8,996				
～平成19年度	体育館等解体工事ほか	625				
	小 計	9,621	4,900	2,820	1,824	77
平成20年度	外構工事	315				
	現庁舎解体工事ほか	239				
	小 計	554		451	45	58
平成17年度以降計		10,175	4,900	3,271	1,869	135
合 計		10,455	5,058	3,271	1,869	257

区想今完成の各新市国



実際の整備は予想図と異なります。





6 階平面図(案)

(縮尺 S=1:300)

